

産婦人科の2006年の麻酔科管理手術は684件で、その内の予定良性腫瘍手術(子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮脱)件数は表1です。近年子宮筋腫についてはカテーテル治療である子宮動脈塞栓術が行なわれるようになり、当院でも1999年より放射線科、麻酔科の協力で痛くない子宮動脈塞栓術(UAE)を行っています。UAEを行いますと6~12ヶ月で子宮筋腫の体積は30~40%に縮小し、また月経痛と月経量は減少し、子宮温存を希望される女性には優れた治療法となっています。なおUAEの入院期間は約5日間です。手術療法も開腹、腔式、腹腔鏡下、子宮鏡下手術と患者さんの状態にあわせて種々の術式で行っています。子宮筋腫核出術では術前にあらかじめ自己血を保存し手術に臨む場合や、巨大筋腫の場合には前もって薬剤(Gn-RH)を投与し筋腫の縮小後に手術を行う場合もあります。

卵巣腫瘍は術前MRI等で良性と考えられる卵巣嚢腫では腹腔鏡手術を行っていますが、手術中に悪性疾患の鑑別(病理検査)が必要な症例では開腹術をおこなっています。

個々の治療法については、外来でご相談下さい。

子宮筋腫	腹式子宮全摘術	71
	腔式子宮全摘術	7
	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	15
	子宮鏡下筋腫核出術	7
	子宮動脈塞栓術	6
	筋腫核出術(開腹術)	32
	筋腫核出術(腹腔鏡下)	3
卵巣腫瘍	腹腔鏡下手術	61
	開腹手術	41
子宮脱		31